

立春の候、皆さま方におかれましては益々ご健勝のこととお慶びを申し上げます。日ごろ、当院の地域連携にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。



* 第22回 地域医療研究会を開催しました *

令和2年1月29日(水) 19時45分から、当院の北館4階講義室にて、「第22回名古屋市立緑市民病院地域医療研究会」を開催しました。遅い時間にもかかわらず院外・院内合わせて34名の出席をいただき、ありがとうございました。

【特別講演】 20:00~21:00

『認知症に潜む高齢者てんかん』

聖隷浜松病院 てんかんセンター

副センター長 藤本 礼尚 先生



緑区医師会副会長の平岩先生よりご挨拶いただきました



当院山本院長の挨拶

講演では、けいれんとてんかんの違いについて症例を通して学ぶことができ、実際のてんかんの動画では、スタッフの対応の冷静さを拝見し大変勉強になりました。また、「Epiパスポート」という情報共有のツールを作成され「患者—プライマリー医療機関—聖隷浜松病院てんかんセンター」との間ですでに700冊以上配布されているとのこと。地域との情報共有・連携を多く取られていることにも大変興味深く聴講させていただきました。

* 新任医師紹介 *

村島 美穂 (むらしま みほ) 腎臓内科 (名古屋市立大学 助教)

月曜日 (13:30~16:30)

*2/3(月)から、診療を開始します。



* 「地域活動のご報告」 *

昨年 12/19 (木)、当院の待合にて
緑警察署と合同で防犯の啓発活動とヘルプマークの普及活動を行いました。
『冬至は「かぼちゃ」を食べて病気予防！還付金詐欺にはご注意を！！』
と地域の患者さん、ご家族へ呼びかけました。



『ヘルプマークとは』

内部障害や難病の方を始め、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、平成 24 年に東京都が作成したマークです。

愛知県でも平成 30 年 7 月 20 日から配布を開始しております。

当院もこの活動に賛同しております。

* 「地域包括ケア病棟」のご案内 *



当院では、在宅復帰・社会復帰を実現する為に、

- ①急性期病院での治療後のリハビリ等の支援（ポストアキュート）
- ②在宅・生活復帰支援
- ③自宅、施設等で療養中の方の症状増悪時の救急対応や、誤嚥予防、ADL 向上目的のリハビリテーションなどの後方支援（サブアキュート）
- ④その他の受入（化学療法、緩和ケア、短期滞在手術基本料 3、医療必要度の高いレスパイトケア等のメディカルショートステイ）

など、後方支援病院としての役割・機能を果たす「地域包括ケア病棟」を 2 病棟 105 床配置しております。多職種でご自宅、施設等までの生活を支援いたします。

※詳細につきましては、地域医療連携室までお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ窓口】

地域医療連携室

TEL : 052-892-1334

FAX : 052-892-1315

月曜日～金曜日 : 9:00～18:00 土曜日 : 9:00～12:00 (祝日・休診日は除く)